

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 10 日現在

機関番号：32636

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20401014

研究課題名(和文) アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究

研究課題名(英文) An Investigation on the Collection of Chinese and Japanese Calligraphy Works in U.S. Museum

研究代表者

河内 利治(KAWACHI TOSHIHARU)

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号：70249077

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・美学・美術史

キーワード：書道/書跡/国際情報交換/ワシントン DC フリーアギャラリー/ハーバード大学美術館/バーネット&ブルートコレクション/ボストン美術館/シアトルアジア美術館

1. 研究計画の概要

アメリカの博物館・美術館ならびに民間等に収蔵される「中国書跡(中国人が書いた書道作品)」と「日本書跡(日本人が書いた書道作品)」の基礎データの収集と整理を行い、将来的な網羅的なデータベース化に向けての基盤を構築することを目的とし、そのための調査研究を行う。

日本の伝統文化の一つである書道は、東アジアの一国としての日本が世界各国地域と連携を深める上で、国際性と地域性を有する重要な歴史的淵源と芸術的創造力をもっている。その証左として、アメリカ、中国(台湾、香港、マカオを含む)、日本の研究機関ならびに民間において、「中国書跡」と「日本書跡」が数多く収蔵されている。なかでもアメリカにおけるその収蔵状況、研究状況を調査し、整理し、把握し、基盤を整備することは、日中米の芸術文化交流に繋がり、将来の日本の書道文化の継承発展のみならず、伝統文化自体のあり方を模索することに繋がると考える。

本研究は、書道文化の国際性と地域性を学術的に評価するための基盤研究であり、かつ日本の書道文化の継承発展にとって非常に重要な研究であり、先人がほとんど未着手の研究領域である。

中国絵画の分野では、鈴木敬編『中国絵画総合図録』第1巻～第5巻、東京大学出版会、1982～1983および戸田禎佑・小川裕充編『中国絵画総合図録』続編第1巻～第4巻、東京大学出版会、1998～2001が研究報告書として刊行されており、すでに欧米における絵画作品の収蔵状況は明らかにされている。しかし「書跡」の収蔵状況は、中田勇次郎/傳申編

『歐米収蔵中国法書名蹟集』全四巻、中央公論社刊 1981 および同編『歐米収蔵中国法書名蹟集(明清篇)』全二巻、中央公論社刊 1983の二書が30年前に刊行されて以降、収蔵状況が不明である。

よって本調査研究によって、少なくともアメリカの博物館・美術館における収蔵状況を再調査し体系化することが可能である。

「中国書跡」と「日本書跡」の基礎データの収集と整理を行うためには、各博物館・美術館に収蔵される重要な書跡と、それに関するカタログ(展覧会図録)および論文(カタログに引用される文章、一般刊行物およびその他)の収集と整理が必要である。事前にこれらの刊行物を収集しながら基礎データの整理を行う。

最終的には、収集整理したデータをもとに「基礎データ台帳」を作成して、アメリカの博物館・美術館等に収蔵される「中国書跡」と「日本書跡」の実情の一端を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

平成20年度は、書跡の図版の収集と精査を行いながら、実際に渡米してアメリカの博物館・美術館等に収蔵される書跡の計測、写真撮影、保存状態の確認などを行い、そのデータをもとに「基礎データ台帳」作成を開始した。ボストン美術館「日本書跡」15点、バーネット&ブルートコレクション「日本書跡」7点、フリーアギャラリー「日本書跡」29点と「中国書跡」5点、シアトルアジア美術館「日本書跡」1点と「中国書跡」14点を現地調査した。帰国後それらを整理しながら、「日本書跡」52点、「中国書跡」19点、合計71点の「基礎データ台帳」にまとめた。

平成 21 年度も継続して、ボストン美術館「日本書跡」15 点、フリーアギャラリー「中国書跡」13 点、シアトルアジア美術館「日本書跡」11 点を实地調査した。それらを整理し、「日本書跡」26 点、「中国書跡」13 点、合計 39 点の「基礎データ台帳」をまとめた。

平成 22 年度も継続して、ハーバード大学美術館「日本書跡」15 点、「中国書跡」6 点、フリーアギャラリー「日本書跡」10 点、「中国書跡」5 点、ならびにパーネット&ブルートコレクション「日本書跡」10 点、「中国書跡」1 点を实地調査した。それらを整理し、「日本書跡」35 点、「中国書跡」12 点、合計 47 点の「基礎データ台帳」をまとめた。

但し、平成 22 年度から、ボストン美術館での調査が、館側の事情で実施できなくなったことは残念である。その一方、研究協力者の一人ジョセフ・チャン氏がフリーアギャラリーからサンフランシスコアジア美術館に移動されたため、フリーアギャラリーに加えてサンフランシスコアジア美術館での調査の道が開かれた。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

年度別では、平成 20 年度 71 点、平成 21 年度 39 点、平成 22 年度 47 点、合計 157 点を調査し得た。書跡別では、「日本書跡」が 52 点、26 点、35 点の合計 113 点、「中国書跡」が 19 点、13 点、12 点の合計 44 点を、美術館別では、ボストン美術館 30 点、フリーアギャラリー 62 点、シアトルアジア美術館 26 点、ハーバード大学美術館 21 点、パーネット&ブルートコレクション 18 点を調査し、すべて「基礎データ台帳」にデータベース化し得た。

4. 今後の研究の推進方策

アメリカの博物館・美術館等に収蔵される「中国書跡」と「日本書跡」の実情を明らかにするには、書跡の図版の収集と精査が必要であり、各館公式ホームページに掲載される画像図版を参照しながら、調査対象とする博物館・美術館と書跡を絞込んでいるが、各館が全ての書跡を公開しているわけではないので、可能な限り实地調査を続け、データベース化し得た「基礎データ台帳」に基づき WEB 上での公開を推進する。

5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計 5 件)

河内利治・安達直哉，平成 22 年度科学研究費補助金「基盤研究 B 海外学術調査」による研究報告 研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究，大東書道研究 18，査読無，2011，142-157

河内利治，徐渭之書法審美觀與“狂氣”，乾坤清氣 青藤白陽書畫學術研討會論文集，澳門藝術博物館，査読有，2010，192-238

河内利治・安達直哉，平成 21 年度科学研究費補助金「基盤研究 B 海外学術調査」による研究報告 研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究，大東書道研究 17，査読無，2010，104-116

河内利治，徐渭の書法美学，徐文長，白帝社，査読無，2009，192-238

河内利治・安達直哉，平成 20 年度科学研究費補助金「基盤研究 B 海外学術調査」による研究報告 研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究，大東書道研究 16，査読無，2009，132-144

〔学会発表〕(計 5 件)

河内利治，書法的美意識 沙孟海と黄道周の 道媚 をめぐって，埼玉県高等学校書道研究会主催平成 22 年度講演会，2011.2.9，埼玉県立川越女子高等学校

河内利治，唐宋書法之授受 從日本江戸時代《古法帖賣買目錄》來談起，明道大學國學研究所・中文系主催唐宋書法國際學術研討會，2010.11.20，明道大學(台湾)

河内利治，傅山與遺民，豪素深心 明末清初遺民金石書畫學術研討會，2009.9.5，澳門藝術博物館(中国マカオ)

Toshiharu Kawachi, A Glance over Guo Moruo's Calligraphy, International Guo Moruo Academy (IGMA), 2009.8.27, Johns Hopkins University (ワシントン DC)

河内利治，日中書法伝授の一形態 空海と韓方明の筆法をめぐる言説について，大東文化大学・東北師範大学主催・日本学術振興会北京事務所共催「シンポジウム：日本と中国の明日への架け橋 言語・文化・社会、日中比較を機軸として」，2008.10.31，東北師範大学外国語学院(中国長春)

〔図書〕(計 5 件)

安達直哉，大東文化大学大学院書道学専攻，大東文化大学所蔵貴重図版目録，2011，104 頁

河内利治，二玄社，書道辞典増補版，2010，325 頁

河内利治，大東文化大学人文科学研究所，九成宮醴泉銘〔模刻本〕，2010，43 頁

安達直哉，二玄社，書道文化財(大東文化大学書道テキスト第 4 巻)，2010，61 頁

河内利治，大東文化大学人文科学研究所，西嶽華山廟碑〔雙鈎本〕，2009，31 頁